



学校長 飛田 祥

一方十一月十六日(土)は、京都丹波キッズふれあい駅伝が行われ、学校代表として八名の子どもたちが出場しました。どちらの駅伝においても、出場した子どもたちは、日々の放課後練習で互いに切磋琢磨し、競い合いながらも支え合うことで、強い絆を築きました。小学校は、中学校や高等学校と違って、部活動がある仲間が集まって活動するという機会がありません。そういう意味では、この経験は、競技の場だけでなく、将来にわ

そして、教育課程でもこうした経験を味わうことを意図しています。今年、亀岡小学校では「学びと育ち亀小祭」として「子どもの学びと育ち亀小祭」として生まれ変わりました。コロナ禍の影響で、昨年度までの三年間は、一人ひとりが学んできたことを個々に発表するということになってきました。しかしながら次のステップとして「学年全体で二つのものを作り上げる」ということを目指しました。ご存じのように運動会では、徒競走や集団競技など、学級ごとの取り組みが中心です。しかし、亀小祭では学年全体で力を合わせ、協力し合いながら作品や発表を作り上げることに焦点を当てています。学年の仲間たちと一つの目標に向かって中で得られる多くの価値が含まれて

子どもの学びと育ち亀小祭の発表より

います。例えば、個人の努力が全体の成果として実を結ぶ達成感や、他者を尊重し、意見を調整しながら進める協調性の大切さを学ぶことができます。また、「一人ではできないことも、みんなとならでできる」という実感を得ることで、子どもたちは次のステップへと大きく成長することでしょう。まさに「子どもは子どもの中でこそ育つ」です。

龜岡小学校の子どもたちは、一人ひとりが持つ力を最大限に發揮し、仲間との協力を楽しみながら、学びと育ちを体現してくれました。これからも、子どもたちが持つ個々の良さと集団での成長を信じ、さらなる飛躍を期待しています。二学期は行事の学期であると同時に、保護者の皆様の家庭でのサポートによって成り立っています。子どもたちの頑張りの成果は、まさに保護者の皆様のサポートの賜物です。この場を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございます。二学期も残すところ十二月のみとなりました。最後まで教職員一同頑張っていましたので、引き続きご支援ください。まずようお願い申し上げます。

[illegible]

十二月行事予定表

「しらせないな、見せないな」
生活科の学習で見つけた 秋 につ
いて文章に書きました、

ぼうしのどんぐり

一年

どんぐりのいろは、きいろとちやいろ
です。さわったかんじは、つるつるです。
さんかくのようなかたちをしています。
大きさは、小さいです。
おもったことは、どんぐりは、大きい
のと小さいのがあつてすごいなとおも
いました。

いちようのはつば

一年

いちようのいろは、きいろとちやいろ
です。
さわったかんじは、ざらざらしていま
した。
大きさは、こゆびくらいです。
おもったことは、すこしいろがかわつ
ていて、おもしろいです。

大きなどんぐり

一年

どんぐりのいろは、ちやいろです。さ
わったかんじは、つるつるしていました。
大きさは、おとうさんゆびとおなじく
らいでした。

大きいどんぐり

一年

どんぐりのいろは、ちやいろときんい
ろです。さわったかんじは、つるつるし
ていました。

大きさは、おやゆびくらいでした。

おもったことは、あながあいていると
おもしろい。

みつけたどんぐり

一年

どんぐりのかたちは、ほそながいやつ
とまるいのと大きいのもありました。
いろは、ちやいろで、ぼうしもありま
した。

大きさは、こゆびの先くらいです。
さわると、つるつるしてい
ました。ぼうしは、ざ
らざらしていました。ふ
ると、ころころ音がしま
した。
おもしろかったです。



いちよう

一年

いずもだいじんぐうでいちようを見つ
けました。
大きさは、手より小さいです。
かたちは、くりみたいです。
さわると、つるつるしていました。
いろは、きいろです。
見つけたのしかったです。

三しょくどんぐり

一年

さわったかんじは、かたかったです。
いろは、きいろとみどりとちやいろで
した。
かたちは、まるかったです。
上のところは、とがっていました。
どんぐりがひろえてよかったです。

ちくちくまつばつくり

一年

いろは、ちやいろとうすちやいろです。
下のほうは、へこんでいます。
さわってみるといたかったです。
よこから、まつのはつばが出ていてびっ

くりしました。

かめおかまつりのほこ見学に行つて
はじめてしたことやおどろいたこと
をかきました。

二年

わたしは、ほこが11きもあるつてはじ
めてしました。つくるのがたいへんそ
うなので、もつと少ないと思っていまし
た。ほこを作る人、ほこをかざるもの
を作る人みんなががんばつてかめおかまつ
りができるのだなと思いました。
25日の本まつりでは、やたいがいっぱ
いあるのが楽しみだけど、動いているほ
こも見に行きたいなと思います。

二年

わたしが、ほこ見学に行つてはじめて
知ったことは「かぶら」というどうぐで
す。どうぐの名前はきいたことがあつた
けど、じつさいに見たことがなかったの
ではじめて見る事ができました。
25日の本まつりでは、ほこをひくのが
楽しみです。
見学では、自分がしつもんしたいこと
だけでなく、友だちのしつもんも聞くこ
とで、たくさんほこについて知ることが
できました。

二年

わたしは、ほこ見学に行つて、はじめ
てほこを近くで見ました。よそういじよ
うに大きくてびっくりしました。ほこに
はいろいろなかざりがついていて、とて
も高かったです。

25日の本まつり

では、友だちがほ
こにのるので楽し
みです。のつてみ
たらどんなかんじ
なのかと気になります。

見学でお話をきいて、ほこのかざりが
それぞれがうのがすごいなと思いまし
た。

二年

ぼくは、ほこ見学にはじめて行きまし
た。ほこ見学に行つて思ったことは、ほ
こが思ったよりも小さいなと思いました。
また、ちいきの方のお話を聞いて、いろ
いろむずかしかったけれど、ほこの上
にみさまがいるとは、思いませんでした。
明日の、ほんまつりが楽しみです。スー
パーボールすく日も楽しみです。

二年

わたしが、ほこ見学で気づいたことは、
ほこを見てみたら思ったよりも大きかつ
たです。きよ年、まつりで、見たほこよ
りも大きいと思いました。
きた山の山ぼこがうごくし、ほかの山
ぼこのかざりも、たぶんちがうから楽し
みです。ちいきの人が、山ぼこには、か
みさまがいてると言っていたので、ほんと
にいるのかなと思いました。

二年

わたしは、ほこ見学で山ぼこという名
前をはじめてしました。みやけ町の山
ぼこくらべてみたら、みやけ町のほう
が大きいと思いました。
ちいきの人のお話にはかみさまがいっ
ぱい出てきて、おどろきました。かみさ
まとかみさまがたたかうのが、ふしぎに



思いました。

ほんまつりでは、ほこがいつぱいうごいていたら、いろいろなほこが見られるから楽しみです。

話をしている人がいろいろなことをよく知っていて、すごいと思いました。わたしも、大人になつたらいろいろくわしい人になりたいです。

秋の虫

三年

夜のにわにでた
まつ虫やすす虫の声がした
秋だなあとかんじた

月

三年

夜空を見上げたら
月があつた
きれいだな
ながめていたら
あつというまに
じかんがすぎていく

秋の色

三年

感じよう
楓のきせつが
もう来たか

秋のはいく

三年

秋休み
あつたらいいな
秋休み

秋のはいく

三年

かきあつめ

パラパラ落ちる
葉が落ちる

秋のはいく

三年

ねむるとき
すすむしのこえ
いいおとだ

秋の楽しみ

季節の行事や秋に関わる言葉を使つて、秋の良さを、秋の訪れを感じられる俳句や短歌を作りました。

四年

秋の朝

すずしい時間
気持ちいいな

四年

七五三

家族で写真
思い出だ

四年

カキや梨

秋の果物
おいしいな

四年

秋のはいく

ゆうぐれに
とおくのやまを
見たならば
こうよう見れて
元気いっぱい

元気いっぱい



四年

秋の宵

虫の合唱

すず虫が

良い気持ちなり
家にも響く

四年

秋の朝

おいもをね
いっぱいたべて
腹いっぱい

四年

秋の朝

もみじがり
山にいったら
もう秋だ

四年

秋の祭りは

かめおかの
秋の祭りは
せかいいち

四年

秋のはいく

お月見で
月見だんごが
おいしいな

四年

秋が来た

葉の色変わり
寒すぎる
でも花きれい
いい秋だな

いい秋だな

五年生が始まり、約半年が経ちました。これまでの自分やクラスの様子をふり返り、自身の成長やこれからの抱負など、考えたことを書きました。

五年

ぼくは、五年生になってから、授業の時の切り替えが早くできたり、リーダーシップをたくさん発揮できるようになったと思います。ぼくのクラスは、よく笑うのですが、その次の行動にうつるときに、すぐ切り替えができます。そのため、集中できるクラスです。それを思い続け、去年よりも「切り替えができるようになったなあ」と思うようになりました。そして、五年生になると、委員会や応援団などをやるようになりました。そこでぼくは、自分のやりたいことに手を挙げていくことで、自信がつきました。このことから、あと半年も、笑顔を増やしていき、クラスのきずなも深くなるようにしていきたいです。そして、最高の一年にしていきたいです。

五年

私は五年生になってから、色々な人に自分からあいさつをするようになりました。四年生の頃は、あいさつをしてもらってからあいさつを返していました。けれど、五年生になって「このままじゃだめだ」と思い、自分からあいさつをするようになりました。あいさつは、人との関わりをもつ機会にもなり、様々な人と仲良くなれます。先日の陸上記録会でも、他校の人達に自分から声をかけ、お互いにはげまし合うことができました。

また、積極的に行動できるようにになりました。これまでは恥ずかしくて自分から前に出ることは少なかったけれど、五

年生になってからは友達と声をかけ合い、運動会の「ハカ」や駅伝など多くのことに自分からチャレンジできるようにになりました。

この経験を生かし、五年生の後半も友達と支え合い、様々なことに「Action」を起こしていきたいと思います。

秋のイメージを広げ、俳句を詠みました。

六年

もみじの葉 色とりどりで
きれいだな

六年

見上げると 大きな円は
そこにある

六年

風に乗り 木からとびたつ
紅葉かな

六年

運動会 スリル満点
組み体操

六年

ハロウィーン 家族みんなを
おどろかす

六年

さつまいも
みなも心も
ほかほかだ

六年

お月見は 空へと光る
ボールかな



六年

ハロウィーン おかしばく食
秋の夜

六年

絵の具のよう 景色いろいろ
秋の旬

六年

お月見に 月のうさぎと
もち食べる

六年

月明かり 星をも負かす
十三夜

六年

秋の屋 落ち葉は風で
ひらひらと

六年

光差す 夜空に浮かぶ
名月が

六年

秋の日は 鈴虫たちの
大合唱

六年

風に乗って 木から落ちてく
紅葉かな

笑顔あふれる亀小へ

人権教育部

みなさんは、「世界人権デー」という日を知っていますか。一九五〇年に、世界中で十二月十日に記念行事を行うことが決議されました。日本では、十二月四日

から十日までを「人権週間」としています。

「人権」とは、「誰もが毎日、『安心』『安全』『幸せ』に生きることが出来る権利」です。



亀岡小学校でも、十一月二十五日から十二月六日までを人権週間とし、改めて人権について考える機会としています。

今年度のスローガンは、「できたこと見つけた みつけようできること つなげよう友だちと けいぞくしよう学んだこと」です。このスローガンは、児童会本部の子どもたちが、亀岡小学校をよりよくしていくためにはどうすればよいかを考え、決めました。このスローガンをもとに、十一月の人権週間では、全校で「できたところ見つけ」の取組を行います。学校やクラスにある課題を見つけて。そして、それを解決するためにできることを自分なりに考え、取り組んでいきます。人権旬間の最後には自分がクラスや学校のためにできたことを振り返ります。自分のよさに気づき、自信をもち、自分の周りの人だけでなく、自分にも笑顔が増えていってほしいと思っています。

人権旬間を通して、一人一人が自分らしさに気づき、友達も自分も大切にして、笑顔あふれる亀岡小学校になることを願っています。

仲間と共に力の限り

教務主任

十一月九日土曜日には、第三十五回亀岡市小学生駅伝(持久走)大会が開催されました。私自身も小学校五年生・六年

生の時に参加した思い出深い大会でもあります。令和二年度から新型コロナウイルス感染症の影響でしばらく中止されていましたが、昨年度から再開されることとなりました。本校からは五・六年生の希望者計44名、9チームが参加し、見事に全員が完走しました。

私は大会役員として参加し、中継地点手前での児童の誘導を担当しましたが、そこを通過する子ども達の表情の変化が印象に残りました。たすきをもらって勢いよく走り出す子ども達ですが、1200mを走りきって中継地点に戻ってくる頃には、どの子どもも持てる力を出し尽くし疲れ切っています。おぼつかない足取りで、目の焦点が定まらず、たすきを外すのが精一杯といった様子で、疲労困憊の子がほとんどです。ふらふらと今にも止まってしまうような子どももいます。そんな子ども達の表情が一変する瞬間があります。それは、自分を待っている次の走者を見つけた瞬間です。自分に向けて大きく手を振って、自分の名前を呼んでいる仲間を見つけると、子ども達の表情はパッと明るくなり、瞳が輝き出します。体に力が漲り、力強い足取りで中継地点に向かってスピードを上げていきます。子ども達にとつての「仲間」という存在の大きさを改めて感じた大会となりました。

亀岡小学校の横断幕には「仲間と共に力の限り」という言葉が記されています。一人ではくじけそうになることを、心が折れてしまいうるようになることを、仲間と共にもう一頑張りし、力を出し切った経験を糧として、さらに成長してくれることを期待しています。